

TDKグループのCSR

社会から信頼され続ける企業を目指し、従業員一人ひとりが日常の業務を通じて、社是を実践し、企業倫理を徹底していきます。

■ 経営理念

社是

Corporate Motto

創造によって文化、産業に貢献する

Contribute to culture and industry through creativity

社訓

Corporate Principles

夢

Vision

常に夢をもって前進しよう。
夢のないところに、
創造と建設は
生まれない。

勇氣

Courage

常に勇氣をもって実行しよう。
実行力は矛盾と対決し、
それを克服するところから
生まれる。

信頼

Trust

常に信頼を得るよう
心掛けよう。
信頼は誠実と奉仕の
精神から生まれる。

■ TDKグループの行動指針となる企業倫理綱領



TDKグループの「TDK企業倫理綱領」は、法令はもとより社会的規範などを遵守するための具体的な行動指針を定めたものです。

TDKグループが独創性をたゆまず追求し、新たな価値を創造した製品・サービスを提供することを通じて、顧客をはじめすべてのステークホルダーの満足と信頼、

支持を獲得するとともに、社会的課題を解決して社会のお役に立つ存在であり続け、持続可能な社会の発展に貢

献していくことを宣言しています。このため、TDKグループのメンバーは、日常の業務を行う中で次の事項を自律的に実践することを行動の指針としています。

- (1) 従業員一人ひとりの人格・個性を尊重し、異なる価値観や意見にも耳を傾けます。
- (2) 常に問題意識を持ち、物事の本質を追及します。
- (3) 社会的課題の解決のために、何事も積極果敢に、かつ、粘り強くやり抜く姿勢を持ちます。
- (4) モノづくり企業として、創造へのあくなき挑戦に努めます。

世界初の磁性材料「フェライト」は、東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士によって1930年に発明されました。「日本人による独創性のある工業こそが真の工業だ」という加藤博士の言葉に強い印象を受けた齋藤憲三は、日本のオリジナル素材である「フェライト」を事業化するため、1935年、TDKを設立しました。

これまでも齋藤は、TDK創業以前、貧農の故郷、秋田を豊かにするという夢を実現すべく、さまざま



高級織物や毛糸の原料になる毛を持つアンゴラ兎

な事業に取り組んできましたが、なかなか成功を手にすることができずにいました。アンゴラウサギを飼育して、兎毛を販売するという事業もその一つ。兎毛の販売先が見つからないという大き



鐘淵紡績 津田信吾社長



TDK初代社長 齋藤憲三

な困難に直面していました。

ある日齋藤は、厳しい冬の間苦しい生活を余儀なくされている故郷を救いたいという一心で、アンゴラ兎毛を握りしめ夜汽車に飛び乗り、当時の紡績業界をリードしていた鐘淵紡績の津田信吾社長に直接交渉に出向きました。面談の約束もしていない齋藤でしたが、運よく、多忙な津田社長に3分間だけ時間をもらうことができ、アンゴラ兎毛のメリットを全身全霊を込めて説明。その姿 ✓

創業の精神を引き継ぐ経営理念

に津田社長は魅せられ、兎毛の販売を承諾するとともに増産資金も提供することを約束しました。このアンゴラ兎毛事業は失敗しましたが、理想に向かってがむしゃらに進む齋藤という純粋な人間に津田社長は惚れ込みました。

創業当時は「フェライト」の応用は未知数で、創業は「夢」を追った「勇気」ある出発でした。この厳しい時期に、起業家としての齋藤の可能性を信じて、津田社長は、多額の資金提供を行い、窮地を救ったのです。その後、東京工業大学とTDKが研究開発を進めた結果、「フェライトコア」という部品として製品化され、1937年に世界に先駆けて日本の無線通信機やラジオなどに応用されました。そして、終戦までにのべ500万個が出荷される「信頼」を獲得したのです。

「世の中にまだ存在しない価値を素材レベルから創り上げる」という創業時からの独創の精神は、

TDKのDNAとして受け継がれ、1967年6月に制定された社は「創造によって文化、産業に貢献する」にも反映されています。

アンゴラ兎を通じての二人の出会いがなければ、現在のTDKはありませんでした。齋藤は後にこう回想しています。「自分の仕事について、社会的に価値があるという強い自覚と、どんな困難に直面しても決してあきらめないという情熱を持って取り組みれば、必ず道は開ける」と。



(左から)加藤与五郎博士と武井武博士



日本オリジナルの磁性材料フェライト

会社とともに
成功をつかむ



 TDK (Malaysia) Sdn. Bhd.
Accounting and Corporate Planning Team, Nilai
マレーシア



 TDK Corporation of America
Volunteers from the company, Chicago
アメリカ

新たなアイデアを
信じる



 SAE Magnetics (H.K.) Ltd.
Manufacturing Team, Hong Kong
中国

正直で誠実に、
相互との
信頼関係を築く

モラル、敬意、責任感を持ち、
チームワークで
グループの信頼を得る

Vision 夢

仕事を通じて叶えたい
夢は何ですか？

夢を現実にする、
明日のTDKを
つくり出そう！



 TDK China Co., Ltd.
Volunteers from the company, Shanghai
中国

従業員が考える！

わたしの 「夢・勇気・信頼」とは？

世界中で活躍するTDKグループのメンバー。
国や地域は違いますが、社是・社訓に表現された
ありたい姿、グループ全体が進む方向性は全世界共通です。
ここでは、各国のメンバーが、自分たちの言葉で語る
「夢・勇気・信頼」をご紹介します。

Trust 信頼

職場、社会で
信頼関係を築くために、
心掛けていることは
何ですか？



 EPCOS do Brasil Ltda.
Quality Management Team, Sao Paulo
ブラジル



 TDK 株式会社 甲府工場
人事総務・経理チーム
日本

協働で生まれた
複合技術で
世界No.1になる

限界を打ち破り
革新性を追及する



 Amperex Technology Limited
IT and HR Team, Hong Kong
中国



 EPCOS AG
Manufacturing Team, Heidenheim
ドイツ

新たな市場を開拓し、
欧州でデータ回線用チョークの
トップサプライヤーの地位を維持する

Courage 勇気

勇気を持ち
実行し続けることで、
どのような社会を
創造したいですか？



 EPCOS India Private Ltd.
R&D and Technical Support Team, Nashik
インド

資源の減少と
人口増加が進む社会で、
環境保全、
エネルギー安全保障、
平等の実践により
持続可能な
開発への道を開く

TDKグループのCSRの考え方

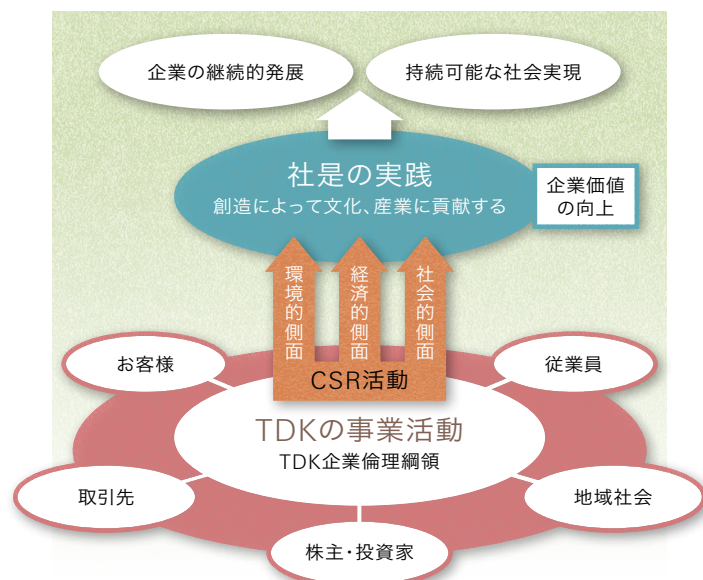
「社是の実践と企業倫理の徹底」のもと、重要な活動項目を定め、CSR活動を推進しています。

■ TDKグループのCSRと理念体系との関係

TDKグループのCSRとは、「社是の実践と企業倫理の徹底」です。これは、TDKが、お客様、取引先、従業員、株主・投資家、地域社会などのステークホルダーによって支えられる社会的存在であることを認識するとともに、ステークホルダーとコミュニケーションをとりながら、企業倫理綱領※を基盤に、TDKの事業活動を通じてCSR活動を推進していくことを意味しています。

社是の実践を遂行することで企業価値を向上させ、その結果、「企業の継続的發展」と「持続可能な社会実現」に貢献していきます。

※企業倫理綱領の全文はWEBをご覧ください。
http://www.tdk.co.jp/about_tdk/code_of_conduct/



■ CSR観点での重要な活動項目

TDKグループは、社会および自社への影響度、重要度を考慮し、右記の4点を重要な活動項目として取り組んでいます。

1. 技術による世界への貢献
2. 人材の育成
3. サプライチェーンにおける社会・環境配慮
4. 地球環境との共生

■ CSR推進体制

TDKグループは、企業倫理・CSR委員会、およびその下部組織であるCSR推進部会を中心にCSRを推進しています。

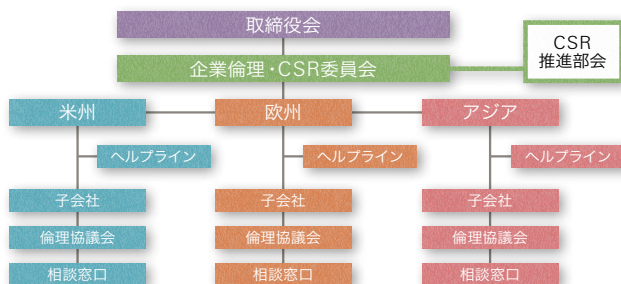
企業倫理・CSR委員会

企業倫理・CSR委員会は、アドミニストレーショングループゼネラルマネージャーと経営監査部、経理部、人事教育部、総務部、法務部、広報部、経営企画部、CSR推進室の各機能長およびTDK-EPC株式会社のチーフ・コンプライアンス・オフィサー（CCO）をメンバーとした、取締役会直轄の組織です。全世界のTDKグループ企業の構成員に対するTDK企業倫理綱領の教育、浸透に努めるほか、同綱領に関連する問題を解決することを使命としています。

CSR推進部会

企業倫理・CSR委員会の下部組織として、設置されているのがCSR推進部会です。CSR活動で取り組むべきテーマごとに11の機能から構成されています。企業倫理・CSR委員会より諮問された事項や事業におけるCSR上の課題を検証することにより、幅広いCSRテーマの実践を目指しています。

CSR推進体制図

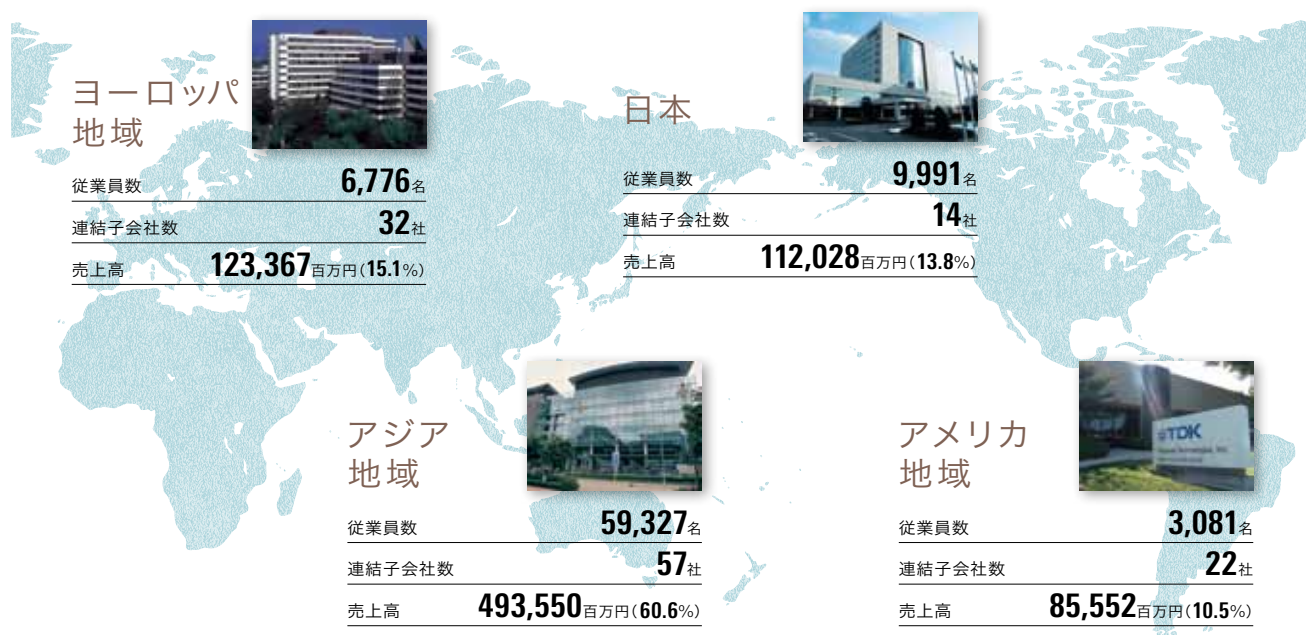


世界に広がるTDKのネットワーク

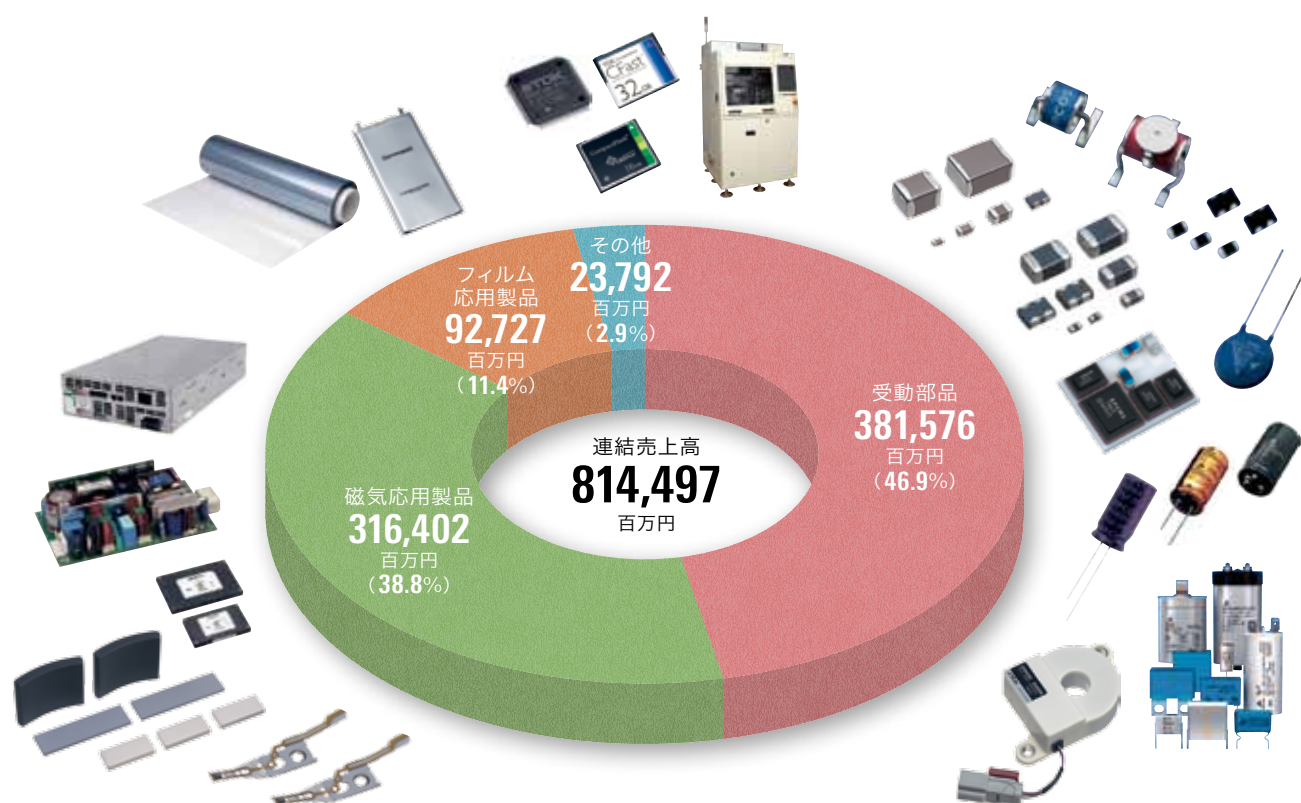
1935年の創業以来、世界中の国や地域に広がったTDKのビジネス。取り扱う製品も多種多様になりました。今後もTDKは、世界の舞台に、社会から必要とされる製品やサービスを提供し続けてまいります。

■ グローバルネットワーク

(2012年3月末現在)



■ 2012年3月期製品別売上高 (構成比)



夢あふれるスマート社会を支える TDKの製品&技術

クラウドコンピューティングとスマートグリッドは、暮らしやビジネスを大きく変える社会インフラ。
TDKではオリジナリティと競争力のある製品と技術により、
夢あふれるスマート社会の構築に貢献します。

HDDヘッド

高度な薄膜プロセス技術によって製造されるのがHDDヘッド。高記録密度化をリードするTDKのHDDヘッドは、HDDのさらなる小型・大容量化を推進しています。

【主な用途】
パソコン、
HDDレコーダ、
データセンター
などのHDD。



ノート
PC

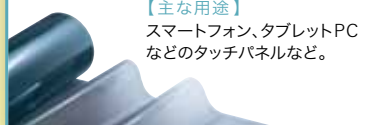
データ
センター

タブレット
PC

ITOフィルム/ ハードコートフィルム

透明電極材料であるITOの薄膜を形成したタッチパネル向けの透明導電性フィルム。傷が付きにくく、滑り性や指紋の拭き取り性に優れたハードコートフィルムも提供。

【主な用途】
スマートフォン、タブレットPC
などのタッチパネルなど。



マイクロDC-DCコンバータ

TDKのIC内蔵基板 (SESUB) 技術により、ICをベアチップ状態で内蔵させた多層基板に、チップ部品を表面実装した超小型高性能の電源モジュールです。

【主な用途】
スマートフォン、
携帯電話、
タブレットPC
など。



リチウムイオンポリマー電池

エネルギー密度が高く、モバイル機器などに多用されている二次電池。電極やセパレータなどの主要部材技術を持つのがTDKの強みです。

【主な用途】
スマートフォン、
携帯電話、
タブレットPCなどの
モバイル機器。



スマート
フォン

ネオジムマグネット/ フェライトマグネット

最強パワーを誇るネオジムマグネットとコストパフォーマンスに優れたフェライトマグネット。レアアース・フリーの材料開発にも取り組んでいます。

【主な用途】
ネオジムマグネット：
HEV/EVの駆動モータ、
風力発電機、産業機器など。
フェライトマグネット：
車載用小型DCモータ、
生活家電用モータなど。



風力発電

HVDC (高圧直流送電) 用 フィルムコンデンサ

長距離送電に適したHVDC (高圧直流送電) システム、風力・太陽光発電システムなどにおいて、送電効率の改善などに利用されるパワーコンデンサです。

【主な用途】
発電・送電システム、産業機器、
鉄道・車載用電子機器など。



HEV (ハイブリッド自動車) / EV (電気自動車) 用 DC-DCコンバータ

メインバッテリーの高電圧を、車載電装システム用の低電圧に変換して、補機バッテリーを充電する電源装置。高効率変換により省エネルギー走行に貢献しています。

【主な用途】
HEV/EV/PHEV
(プラグインHEV)
など。



HEV
EV

産業用途用電源

トランス技術や回路技術などにより、小型・効率化を推進。産業機器ほか、太陽光/風力発電システムなどにも先進のパワーエレクトロニクス機器が活躍しています。

【主な用途】
太陽光発電、
風力発電システム、スマートグリッドなど。



環境と調和した スマートグリッド

スマートグリッドは太陽光や風力などの再生可能エネルギーも利用した地域分散型のエネルギーインフラ。スマートハウスやスマートビルなどとも連携したスマートコミュニティの実現に向けて、素材技術をベースとするTDKのコア技術がますます真価を発揮します。

太陽光
発電

あらゆるものをつなぐ クラウドコンピューティング

雲 (クラウド) に見立てたインターネットを通じて、IT機器はもちろん、人、情報、サービスなど、あらゆるものをつなぐのがクラウドコンピューティング。TDKの多種多様な電子部品・デバイスが、ワールドワイドなクラウド文化の発展をサポートします。

2011年度の主なCSR活動実績と、 2012年度行動計画

「CSR観点での重要な活動項目」を定め、事業活動でのCSRに取り組んでいます。
行動計画に基づきPDCAサイクルを実行し、活動の継続的な改善を図っています。

項目		2011年度行動計画	2011年度活動実績	2012年度行動計画
1 技術による 世界への貢献	事業活動を通じた 社会課題の 解決への貢献	注力分野「通信」「自動車」「産業機器・エネルギー」「情報家電」において、社会課題の解決に貢献する製品開発の促進	レアアースを使用しない磁石、防塵・防滴規格IP66適合のLED機器用小型電源の開発、巻線タイプに代わる積層タイプの携帯機器に向けたインダクタの開発などを実施	新中期計画での注力分野「次世代情報通信」「エネルギー関連」において、社会課題の解決に貢献する製品開発の促進
	環境配慮型 製品の 創出推進	優良環境製品 (ECO LOVE製品) の情報開示と拡販 販売比率:30%以上	優良環境製品 (ECO LOVE製品) の紹介をWEBにて更新実施 販売比率:約31%	優良環境製品 (ECO LOVE製品) の創出と情報開示の継続
2 人材の育成	モノづくり改革を 推進する 人材の育成	- モノづくり伝承塾の継続 - 海外展開	- モノづくり伝承塾実施(2011年度9チーム36名参加) - 海外展開実施(中国、マレーシア)	- モノづくり伝承塾の実施継続 - チーム編成に応じた海外展開実施
	グローバル 人材の 育成	- 異文化コミュニケーション研修、IMD研修実施 - 海外トレーニング制度の定着 - 語学教育強化	- 異文化コミュニケーション研修、IMD研修実施 - 海外トレーニング制度 制度利用者6名 - 自己啓発制度における語学教育支援と支援内容拡大	- 異文化コミュニケーション研修、IMD研修継続 - 海外トレーニング制度の定着継続 - 自己啓発制度における語学教育支援継続と支援内容の充実
	ダイバーシティの 推進	- 各部門におけるアクションプランの実施 - 管理職教育の強化 - 女性従業員教育の強化	- 各部門におけるアクションプランの実施 - e-ラーニング等による管理職教育実施	- 各部門におけるアクションプランの実施継続 - e-ラーニング等による管理職教育実施継続
	CSRの 社内啓発	- e-ラーニング実施(日本)、導入地区拡大 - 集合教育の実施と拡大	- e-ラーニング海外実施開始(中国)、コンテンツ見直し - 集合教育の実施(日本、タイ、マレーシア)	- e-ラーニング実施継続(日本)、海外導入地区拡大 - 集合教育の実施継続と拡大
3 サプライチェーン における 社会・環境配慮	CSR調達の 推進	お取引先様に対してのCSRチェックシート定期改定、指導	- お取引先様に対してのCSRチェックシート改定実施 - お取引先様説明会実施(日本)による、お取引先様へのCSRへの理解促進 - お取引先様CSR監査の試行実施(中国)	- お取引先様に対してのCSRチェックシート定期改定、指導継続 - お取引先様CSR監査の充実
	紛争鉱物※1 (コンフリクト ミネラルズ) 対応	- 紛争鉱物に関する法令・規則についての情報収集と動向の把握 - お客様およびお取引先様への適宜な対応	- 紛争鉱物に関する法令・規則についての情報収集と動向監視 - お客様およびお取引先様への適宜な対応	- 紛争鉱物に関する法令・規則についての情報収集と動向の把握継続 - お客様およびお取引先様への適宜な対応 - 社内体制の整備
	CSR活動基盤の 強化、および、 お客様への CSR対応	- 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施と継続的な管理レベル向上を推進 - お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応	- 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施と拠点訪問による理解促進 - CSR内部監査の実施 - お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応実施	- 製造拠点におけるTDK CSRセルフチェックの定期的実施と継続的な管理レベルの向上を推進 - CSR内部監査の実施 - お客様からのCSR調査・監査依頼への迅速かつ適宜な対応
4 地球環境との 共生	環境活動の推進	「TDK環境活動2020※2」に基づく環境活動推進 「カーボンニュートラルの達成」	「TDK環境活動2020」に基づく環境活動実施 - 中国地区工場での省エネルギー活動強化 - 一部製品群の環境貢献量の定量化完了	「TDK環境活動2020」に基づく環境活動推進

※1：コンゴ民主共和国および近隣国において、武装勢力による違法採掘、密輸などが彼らの資金源となり、紛争を助長するだけでなく、地域住民に対する強制労働や虐待などの人権侵害が社会問題となっている。これを受け、2010年7月に米国金融規制改革法が成立し、米証券取引委員会(SEC)は、米国上場企業に対して、この地域で採掘される鉱物のうち、タンタル、スズ、タングステン、金の使用状況の情報開示を義務付けた。

※2：「TDK環境活動2020」の概要はWEBをご覧ください。http://www.tdk.co.jp/csr/environmental_responsibility/csr03100.htm